

ユース ケース ライブラリ

Product Summary

March 7, 2026



Contents

ユース ケース ライブラリ.....	3
ユース ケース: 請求に対するアワード費用払戻可能支出.....	3
ユース ケース: Excel レポート テンプレートを使用した差異レポートの作成.....	5
ユース ケース: 学業要件およびポリシーの設定.....	5
ユース ケース: 直接的な会社間取引の請求書の作成.....	7
ユース ケース: Excel を使用した OfficeConnect キャッシュ フロー レポートの作成.....	9
ユース ケース: レポート リクエストの納品.....	9
ユース ケース: ラーニング セキュリティ セグメントの作成.....	10
ユース ケース: 発注から現金化までの期間締め.....	12
ユース ケース: 調達から支払までの期間締め.....	14
ユース ケース: Workday のレポート ツール.....	16
ユース ケース: 退職貯蓄の自動拠出増の設定.....	19
ユース ケース: ラーニング用クラウド コネクトの設定.....	19
ユース ケース: 直接的な会社間取引のための顧客とサプライヤの設定.....	21
ユース ケース: 代行の会社間取引の設定.....	23

ユース ケース ライブラリ

ユース ケース ライブラリへようこそ！ここでは、Workday を使用するプロセスと日々のタスクについて、視覚的かつ概要を確認できます。各ユース ケースは以下のとおりです。

- 概要とプロセス フロー、またはタスクの実行方法を示すビデオを提供します。
- 必要に応じて、関係するロールを特定します。
- 該当する場合、プロセスで使用される Workday 製品領域をリストします。
- 他の関連コンテンツへのリンクを提供します。

これらのユース ケースは、現在探索中のコンテンツの新しい領域です。ご意見をお待ちしています。この情報は役に立ちましたか？を使用してください。オプションを追加して、このライブラリのいずれかのユース ケースに対するフィードバックを提供します。

ユース ケース: 請求に対するアワード費用払戻可能支出

対象者

以下のロールに属し、アワード関連の費用の払戻し可能支出について、支出から請求へのプロセスの各ステップを実行する財務担当者。

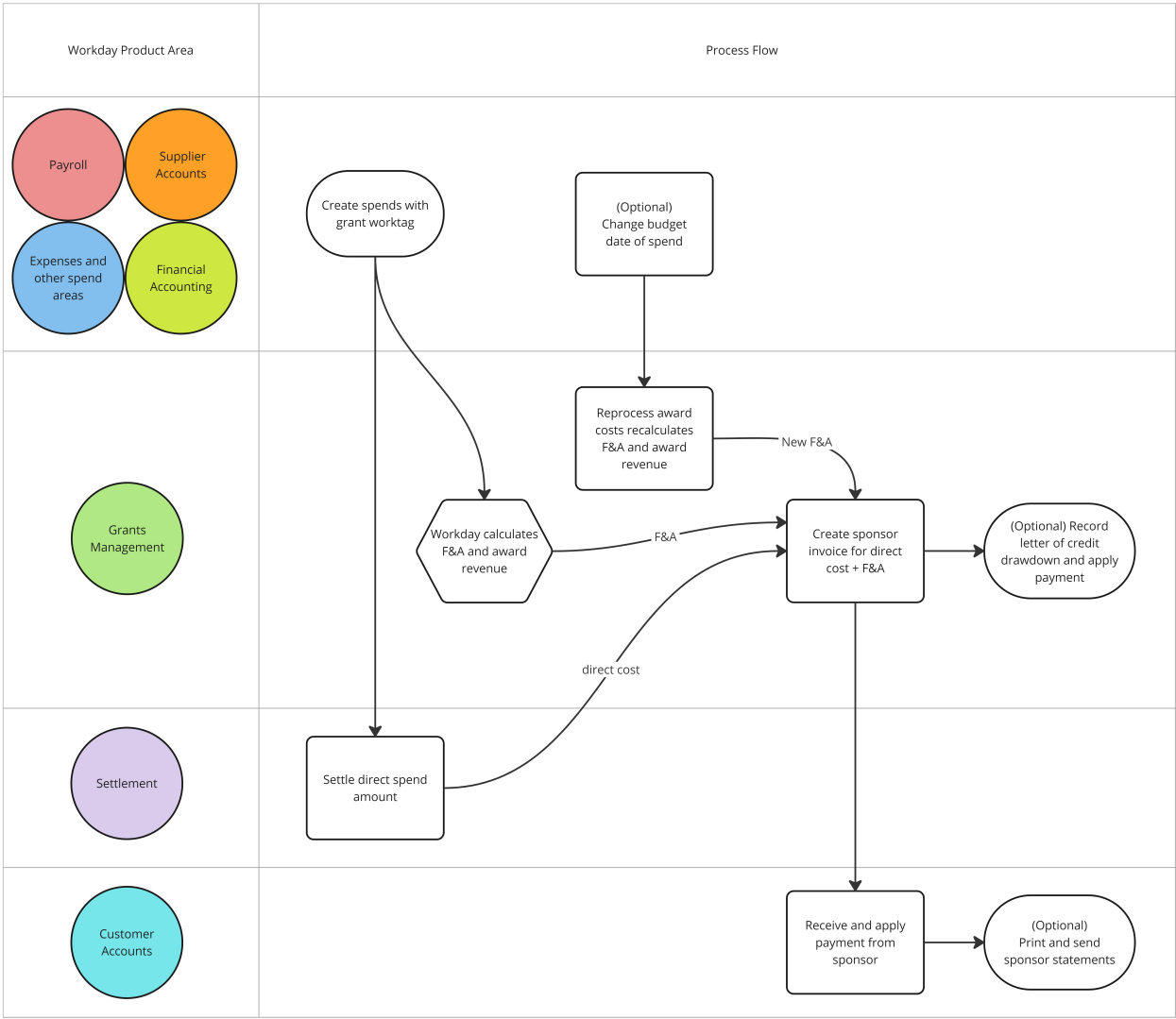
- 会計担当
- 買掛金勘定担当者
- アワード請求担当者
- アワード契約担当者
- 顧客預入/支払/払戻し担当者
- 経費レポート担当者
- 給与計算担当者
- 決済担当者

組織ではこれらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

"アワード費用払戻可能支出から請求まで" は、アワードに対する支出を資金提供者から払い戻すプロセスです。費用払戻可能支出には、給与計算や、コストが発生した後に資金提供者から払い戻す経費レポートやサプライヤ請求書など、他のタイプの支出が含まれます。

このユース ケースでは、各ステップを実行する Workday のプロセスと領域の例を示します。プロセスが異なるタスクまたはワークフローで構成されている場合があります。



影響を受ける製品領域

- 顧客アカウント
- 財務会計
- grant マネジメント
- 給与計算
- 決済
- サプライヤ アカウント
- Time Tracking

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[Process: Award Cost Reimbursable Spend to Billing](#) を参照してください。

請求に対するアワード費用払戻可能支出の詳細については、[グラント マネジメント製品フロー](#)を参照してください。

ユース ケース: Excel レポート テンプレートを使用した差異レポートの作成

対象者

"Excel レポート テンプレートを使用した差異レポートの作成" プロセスの各ステップの実行を担当する、以下のロールの財務専門家。

- ファイナンシャル アナリスト
- 財務プラン担当者

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

差異レポートは、計画された財務結果と実際の財務結果を比較します。差異レポートを使用して、予算または予測と実際のパフォーマンスとの差異を分析できます。このユース ケースでは、Excel のレポート テンプレートを使用して、時間要素の異なるさまざまなセグメント間の差異を計算する際のステップの例を示します。差異分析を行う方法は他にもあります。

ビデオを見る: 3 分 50 秒

影響を受ける製品領域

- Adaptive Planning、モデリング
- Adaptive Planning、Web レポート
- Microsoft Excel

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[例: レポート テンプレートを使用した差異レポートの作成](#)を参照してください。

差異レポートの作成の詳細については、以下を参照してください。

- [マトリクス レポートへの差異の追加](#)
- [2 つの異なるバージョンと期間間の差異の作成](#)
- [予算に対する実際の支出のパーセントとして表示](#)

ユース ケース: 学業要件およびポリシーの設定

対象者

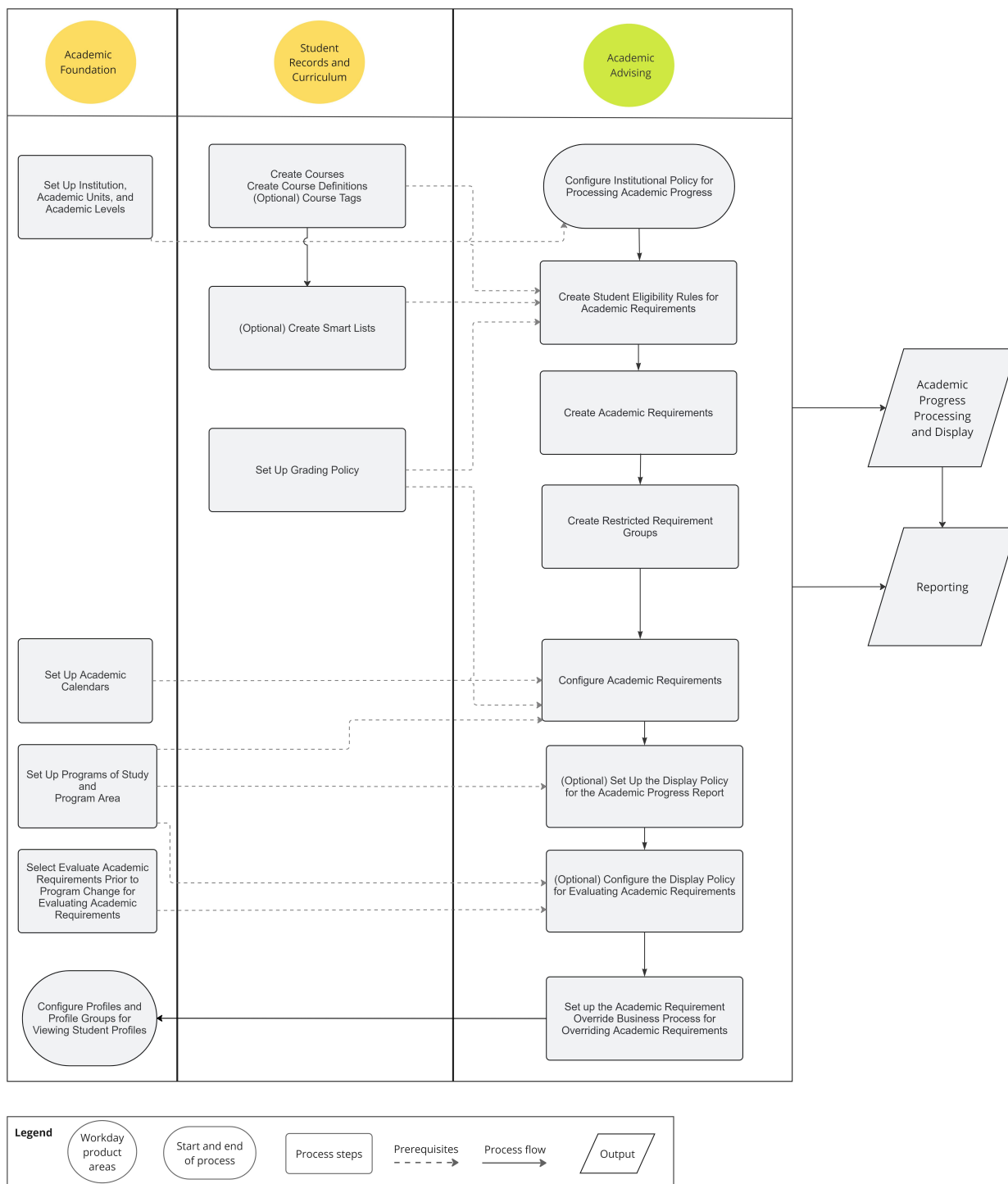
以下のロールのアドバイジング管理者は、学業要件の設定とポリシーを設定するプロセスの各ステップを実行することに担当します。

- 学術 (管理) コーディネーター
- アカデミック アドバイジング管理者
- アカデミック アドバイジング マネージャ
- 関連/記録アシスタント
- 学生レコードのディレクター
- 大学登録管理

組織ではこれらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

学業要件の設定とポリシーを設定することは、学生が教育目的の完了を評価するために必要なプロセスです。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の例を示します。プロセスが異なるタスクまたはワークフローで構成されている場合があります。



影響を受ける製品領域

- アカデミック アドバイジング
- 学術財団
- 学生レコードとカリキュラムの管理

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[ステップ: 学業要件の設定](#)を参照してください。

学業要件およびポリシーの設定の詳細については、以下を参照してください。

- [学業要件の作成](#)
- [限定要件グループの作成](#)
- [学生の資格ルールの作成](#)
- [学業要件の上書き](#)
- [設定の考慮事項: 学業要件](#)
- [設定の考慮事項: コース スマート リスト](#)
- [学業進捗状況の表示ポリシーの設定](#)
- [学業進捗処理ポリシーの設定](#)
- [学業要件の設定](#)
- [学業要件の評価表示ポリシーの設定](#)

ユース ケース: 直接的な会社間取引の請求書の作成

対象者

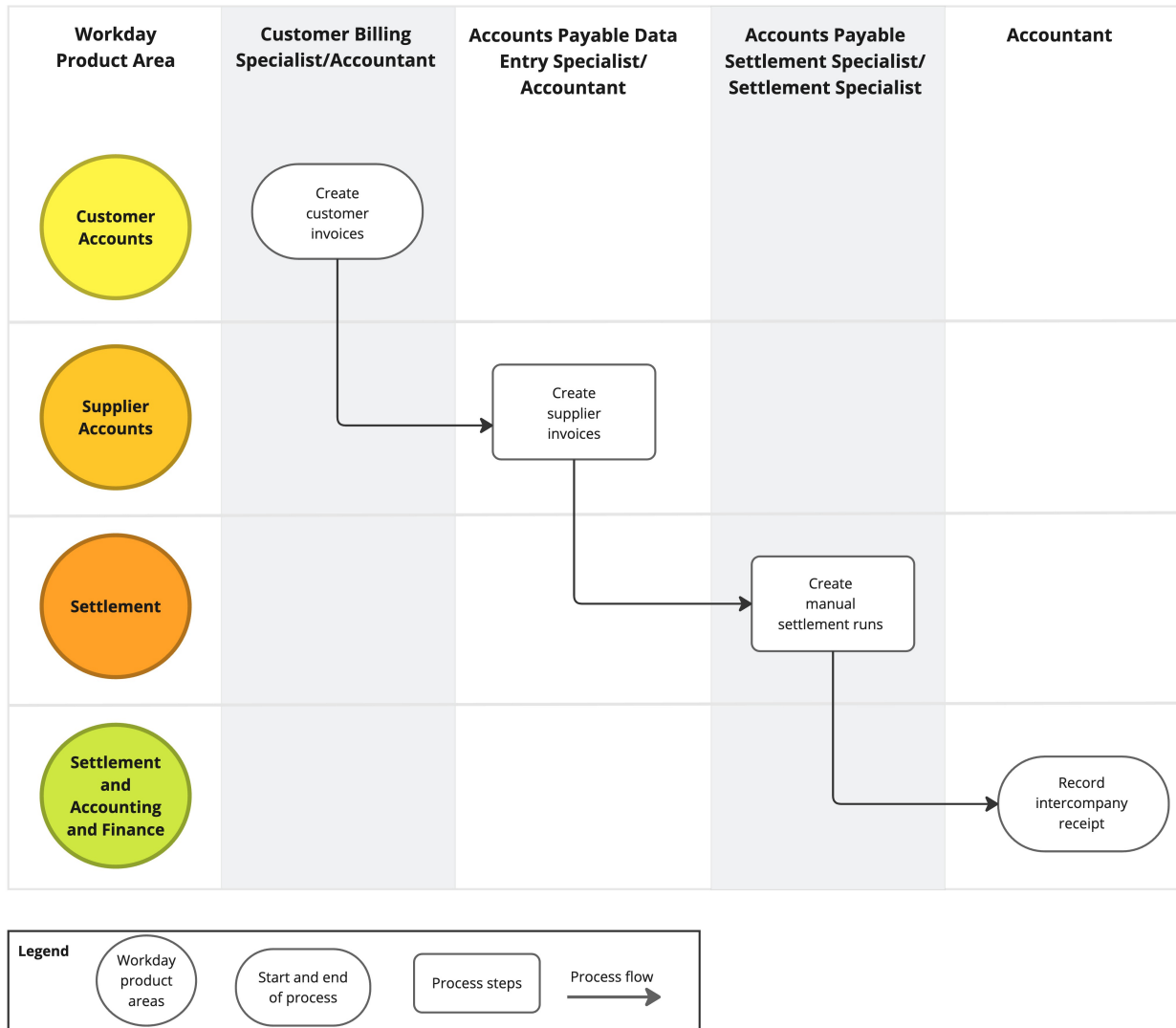
直接的な会社間取引の請求書を作成するプロセスの各ステップの実行を担当する、以下のロールの財務専門家。

- 顧客請求担当者/会計担当者
- 買掛金データ エントリ スペシャリスト/会計士
- 買掛金決済スペシャリスト/決済スペシャリスト
- 会計担当

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

直接的な会社間取引は、Workday 内の 2 つの会社が顧客とサプライヤとして互いに取引を行う場合に発生します。このユース ケースでは、直接的な会社間取引の請求書を作成するプロセスに関連するさまざまなタスクとユーザー ロールについて概要を示します。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の一例を示します。プロセスによっては、異なるタスクやワークフローが含まれる場合があります。



影響を受ける製品領域

- 顧客アカウント
- サプライヤ アカウント
- 決済
- 決済と会計・財務

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[ステップ: 直接的な会社間取引の請求書の作成](#)を参照してください。

直接的な会社間取引の詳細については、以下を参照してください。

- [設定の考慮事項: 直接的な会社間アクティビティ](#)
- [直接会社間取引](#)
- [直接的な会社間取引の請求。](#)

ユース ケース: Excel を使用した OfficeConnect キャッシュ フロー レポートの作成

対象者

"Create OfficeConnect Cash Flow Reports Using Excel" プロセスの各ステップの実行を担当する、以下のロールの財務専門家。

- ファイナンシャル アナリスト
- 財務プラン担当者

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

キャッシュ フロー レポートは、収入、貯蓄、その他の受領書など、ビジネスにもたらされるすべての現金を表示する財務諸表です。このユース ケースでは、既存の Excel キャッシュ フロー レポートを使用して OfficeConnect キャッシュ フロー レポートを作成する際のステップについて説明します。キャッシュ フロー レポートを作成する方法は他にもあります。

ビデオを見る: 3 分 47 秒

影響を受ける製品領域

- Adaptive Planning、モデリング
- Adaptive Planning、Web レポート
- Microsoft Excel

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[例: 既存の Excel レポート形式を使用したキャッシュ フロー レポートの作成](#)を参照してください。

キャッシュ フロー レポートの詳細については、以下を参照してください。

- [キャッシュ フロー値が最上位組織の実績の貸借対照表値と一致しない](#)
- [参考: 数式関数](#)

ユース ケース: レポート リクエストの納品

対象者

組織のレポート作成を担当する以下のロールを持つ財務専門担当者です。

- 一元化されたレポート ライター
- 会計士および財務アナリスト

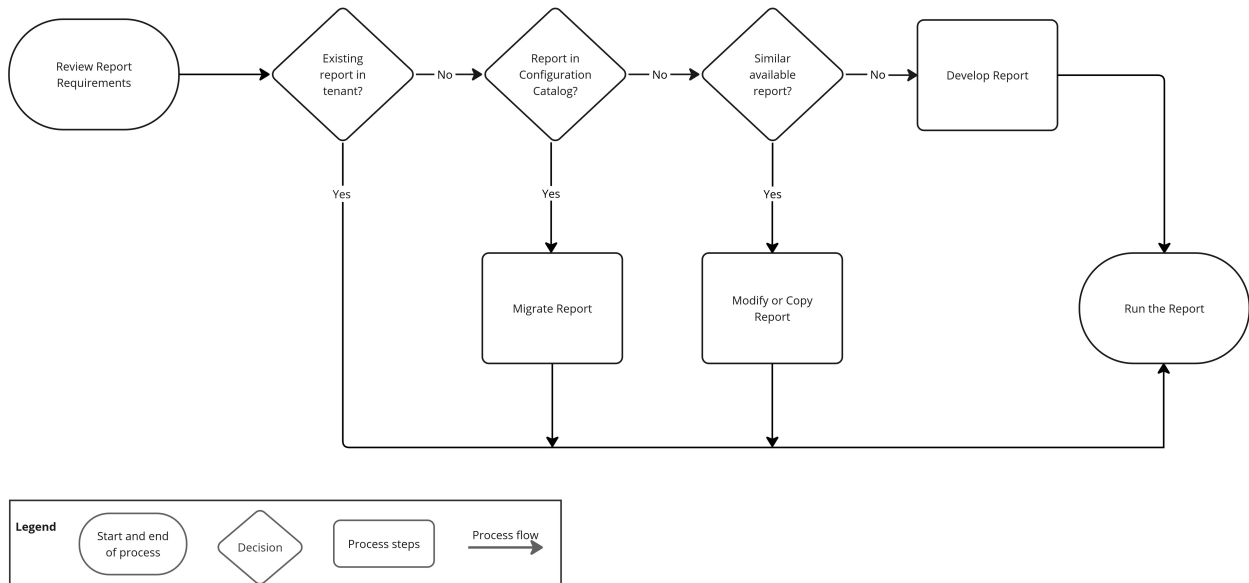
これらのロール名は、組織のロール名とは異なる場合があります。

概要

レポートの作成をリクエストされた場合は、レポートの要件を確認しますが、新しいレポートを最初から作成する前は、以下に記載されている順序でガイドラインに従ってください。

1. テナントで類似のレポートを検索してください。

2. テナントでレポートが見つからない場合は、"設定カタログ" で使用可能なパッケージを参照して、WDSetup テナントで類似のレポートを探します。
3. どのテナント内にも類似のレポートが見つからない場合は、新しいレポートを作成します。



影響を受ける製品領域

レポート

Workday ドキュメント リソース

詳細については、 [参考: レポート リクエストの納品](#)を参照してください。

詳細については、次を参照してください。

- [レポートのパフォーマンスに影響を与える要因](#)
- [概念: データ ソースの選択:](#)
- [概念: インデックス付きデータ ソースとフィールド](#)

ユース ケース: ラーニング セキュリティ セグメントの作成

対象者

Workday のラーニング コンテンツへのアクセスの設定と管理に関するプロセスの各ステップを実行する管理者およびラーニング & 開発担当者。

- Workday セキュリティ管理者
- ラーニング マネジメント システム管理者

組織ではこれらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

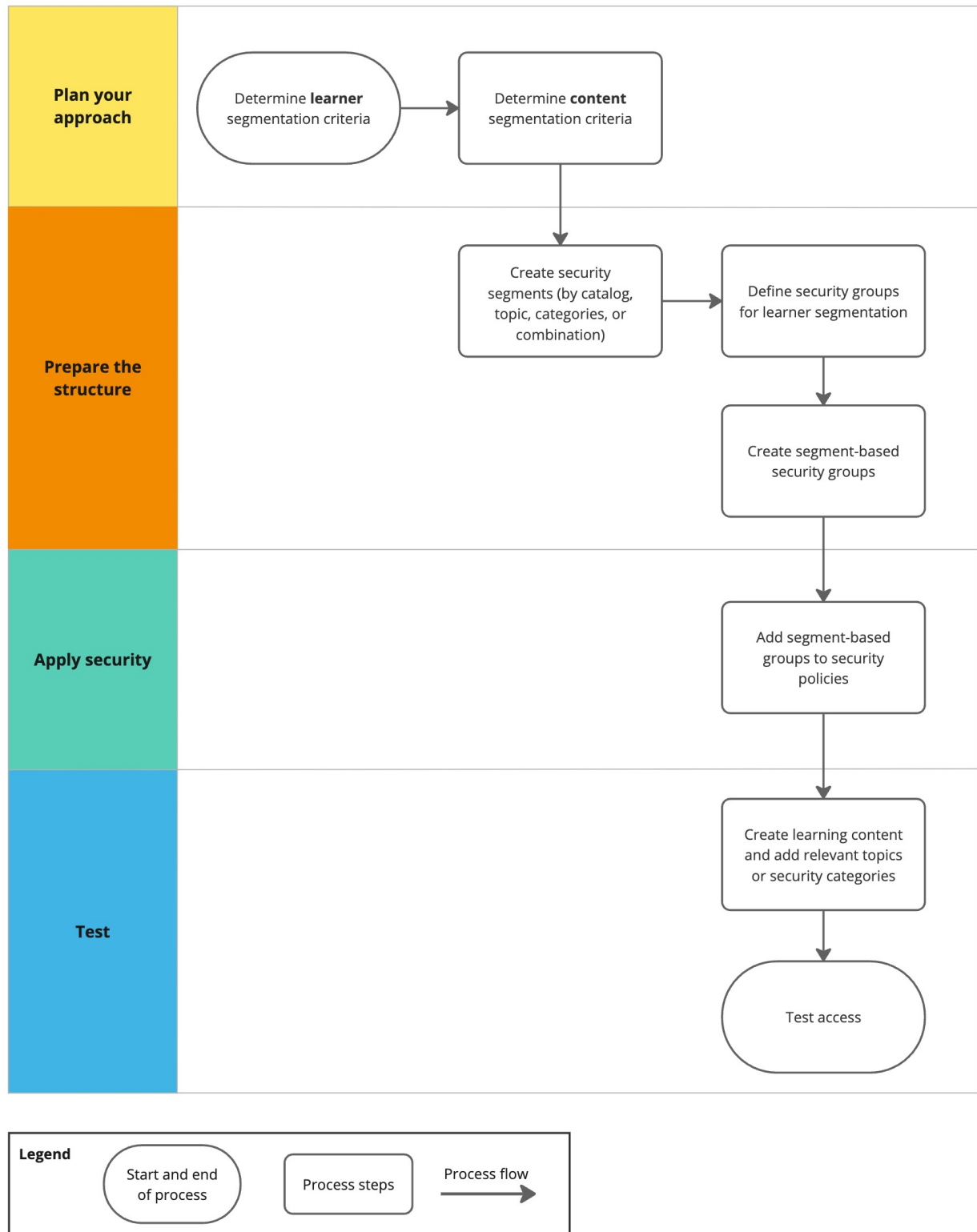
前提条件

セキュリティ: "Learning Core" 業務分野の以下のドメイン:

- *Set Up: Learning Security Segments*
- *Set Up: Learning Catalog*

概要

ラーニング セキュリティ セグメントを使用すると、特定の条件に基づいてラーニング コンテンツへのアクセスを制御できます。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の例を示します。プロセスが異なるタスクまたはワークフローで構成されている場合があります。



セキュリティの考慮事項

- Workday ラーニングのコンテンツは、セキュリティ カテゴリ、トピック、カタログを使用して、詳細に管理できます。
 - セキュリティ カテゴリをコースまたはプログラムに割り当てると、関連付けられたセキュリティ グループによってユーザーのアクセスが決まります。セキュリティ カテゴリをコースに適用すると、そのカテゴリが主セキュリティ方法になり、トピック レベルまたはカタログ レベルのセキュリティ設定が上書きされます。
 - ラーニング トピックは、デフォルトで割り当てられたカタログからセキュリティ セグメントを受け取ります。ただし、トピックが独自のセキュリティ セグメントを定義している場合は、それらが常に優先されます。
- 共通のアクセス要件を持つセグメント ベースのセキュリティ グループが多数ある場合は、セグメント ベースのセキュリティ グループを含む集計セキュリティ グループを作成し、代わりに集計セキュリティ グループに権限を割り当てることができます。表示 [../authentication-and-security/configurable-security/security-groups/aggregation-security-groups/dan1370796338925.dita](#)。

影響を受ける製品領域

ラーニング

Workday ドキュメント リソース

詳細については、次を参照してください: [../human-capital-management/learning/learning-setup-and-maintenance/learning-security/owz1559042692174.dita](#)。

詳細については、次を参照してください。

- [../human-capital-management/learning/learning-setup-and-maintenance/learning-security/gqe1470834901363.dita](#).
- [../human-capital-management/learning/learning-setup-and-maintenance/learning-security/czj1470841147315.dita](#).

ユース ケース: 発注から現金化までの期間締め

対象者

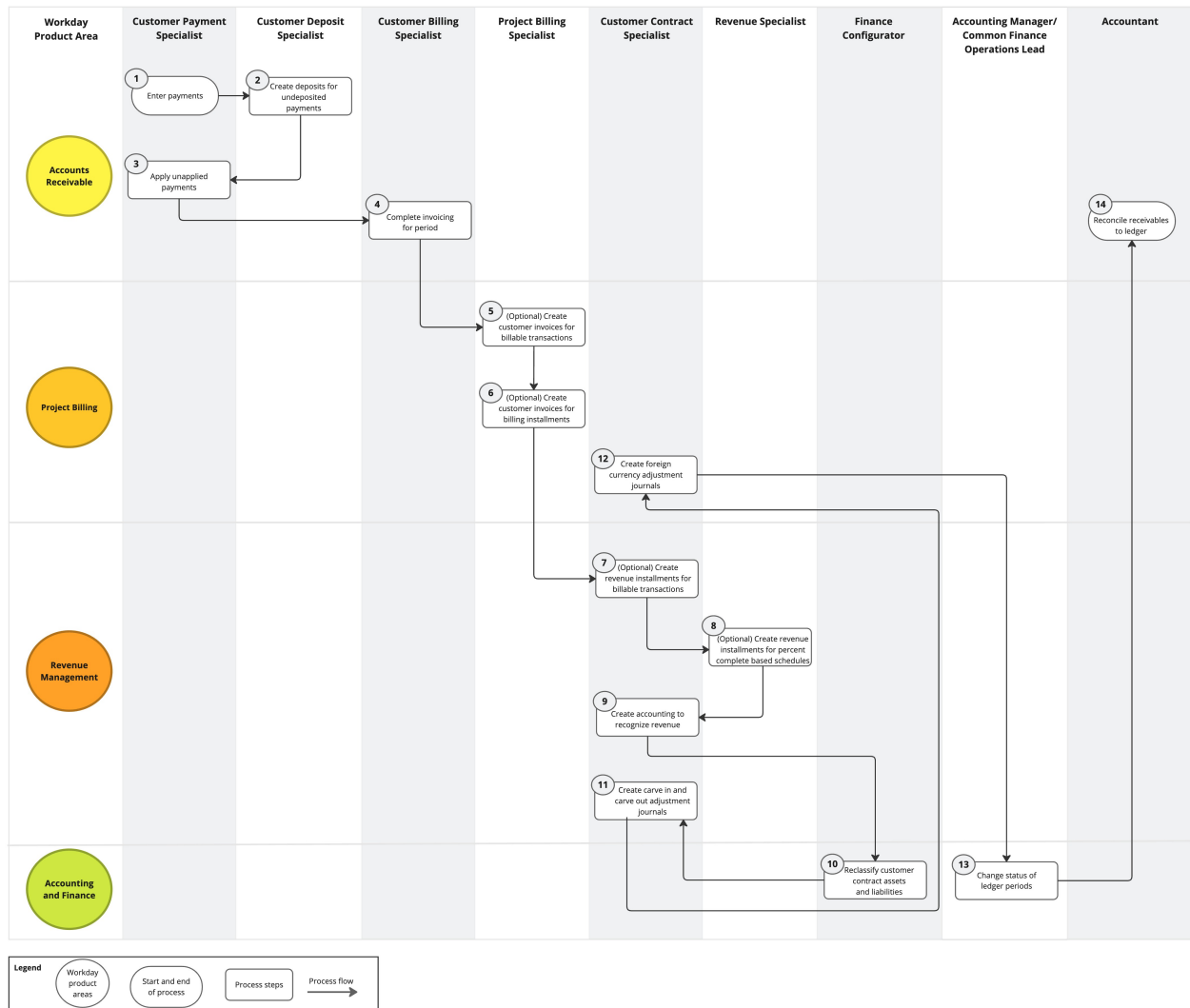
期間締め中に現金化発注プロセスの各ステップを実行する責任がある、以下のロールの財務専門家。

- 会計担当
- 共通財務業務リード
- 顧客請求担当者
- 顧客契約担当者
- 顧客預入担当者
- 顧客支払担当者
- プロジェクト請求担当者
- 収益担当者

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

"Order to Cash Period Close" は、期間締めの間に商品とサービスについて支払を受領し、請求を完了し、収益を認識して会計処理するプロセスです。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の一例を示します。プロセスによっては、異なるタスクやワークフローが含まれる場合があります。



影響を受ける製品領域

- 会計・財務
- 売掛金
- プロジェクト請求
- 収益管理

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[プロセス: 発注から現金化までの期間締め](#)を参照してください。

発注から現金化までの期間締めの詳細については、以下を参照してください。

- [次のレベル: 期間締め](#)
- [Period Close Product Flow](#)。

ユース ケース: 調達から支払までの期間締め

対象者

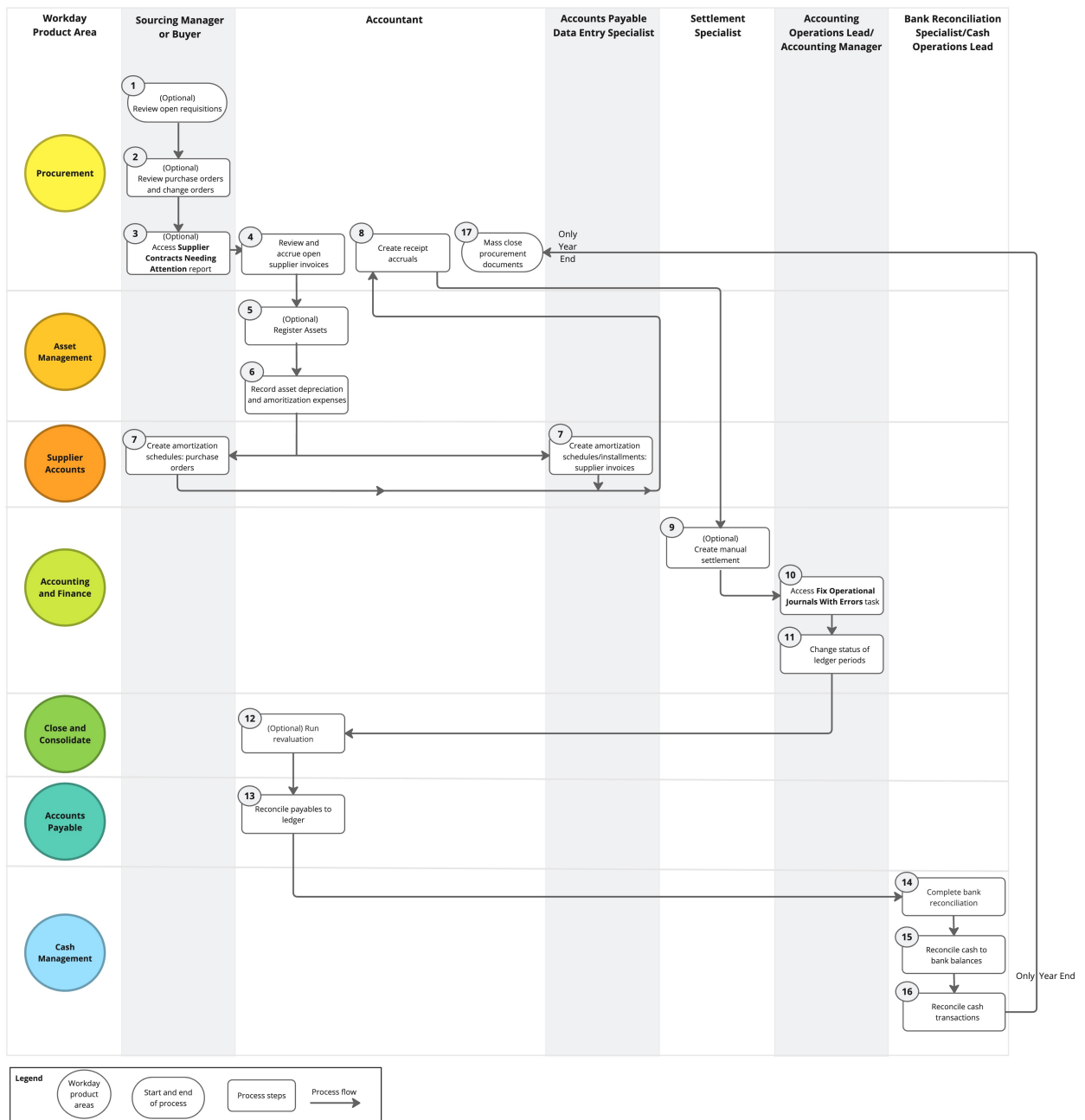
期間締め中に調達から支払までのプロセスの各ステップを実行することを担当する、以下のロールの財務専門家。

- 会計担当
- 会計担当マネージャ
- 会計業務リードイン
- 買掛金データ エントリ スペシャリスト
- 銀行照合調整スペシャリスト
- 購買担当者
- 現金業務リード線
- 決済スペシャリスト
- ソーシング マネージャ

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

"調達から支払までの期間締め" は、期間締め中に商品とサービスの調達依頼、購買、受領、支払、会計処理を行うプロセスです。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の一例を示します。プロセスによっては、異なるタスクやワークフローが含まれる場合があります。



影響を受ける製品領域

- 会計・財務
- Accounts Payable
- 資産管理
- キャッシュ マネジメント
- 締めと連結
- 調達管理
- サプライヤ アカウント

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[プロセス: 調達から支払までの期間締め](#)を参照してください。

調達から支払までの期間締めの詳細については、以下を参照してください。

- [次のレベル: 期間締め](#)
- [Period Close Product Flow](#)。

ユース ケース: Workday のレポート ツール

対象者

組織のレポート作成を担当する以下のロールを持つ財務専門担当者です。

- 一元化されたレポート ライター
- 会計士および財務アナリスト

組織ではこれらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

このユース ケースでは、レポートの作成に使用できる Workday の各種レポート ツールのプロパティについて説明します。それらの固有の特性を理解することが、データ分析および意思決定に適したツールを選択するための重要事項です。

OfficeConnect

一時的なクエリー、財務諸表、またはプランニング データを主に Excel で財務データを使用して作業している場合は、OfficeConnect を使用できます。

- 説明: キュレーションされた Workday 財務データまたは Adaptive Planning データに安全に接続する Excel アドインです。
- 使用者: Workday に関する知識が限定されていない可能性のある会計担当者、FP&A の専門家、財務アナリスト。
- ユース ケース: 財務諸表の生成、アドホック財務分析、日次レポートの実行。
- 重要な考慮事項:
 - Workday から直接アクセスされない、Excel からのみアクセスされたもの。
 - 財務レポートに加えて Adaptive Planning で "仕訳行" や "プラン行" などのモデル データ ソースをサポートします。
 - 外部データを直接 Excel ファイルに取り込みます。
 - 保存時にデータをクリアし、ユーザーがサインインして現在のデータをリフレッシュする必要があるセキュリティ オプションを機能します。

Discovery Board

Discovery Board は、インタラクティブで視覚的なインターフェイスを備えたセルフサービスのアドホック分析を使用して、傾向やインサイトを明らかにすることができます。

- 説明: Workday に組み込まれ、ドラッグ アンド ドロップのインターフェイスを使用する視覚的データ分析ツール。
- 使用者: 通常は一元化されたレポートの開発者とアナリストが作成し、アナリスト、マネージャ、エグゼクティブがすばやくインサイトを得るために使用します。
- ユース ケース: 以下のドメインにわたる視覚的な分析:
 - HCM: スキル ギャップの特定、ベンチマークの設定、研修の評価。
 - 財務: 経費分析、期日を経過した売掛金の把握、DSO ドライバーの分析。

- **重要な考慮事項:**

- Workday 提供のほとんどのインデックス付きデータ ソースとすべての Prism データ ソースをサポートします。
- "表示可能" または "編集可能" 権限を持つ Workday のドライブ共有モデルを使用する。
- Workday 検索、ドライブ、または直接 URL からアクセスできます。
- ユーザーのセキュリティ権限に基づいてデータを表示します。

ワークシート

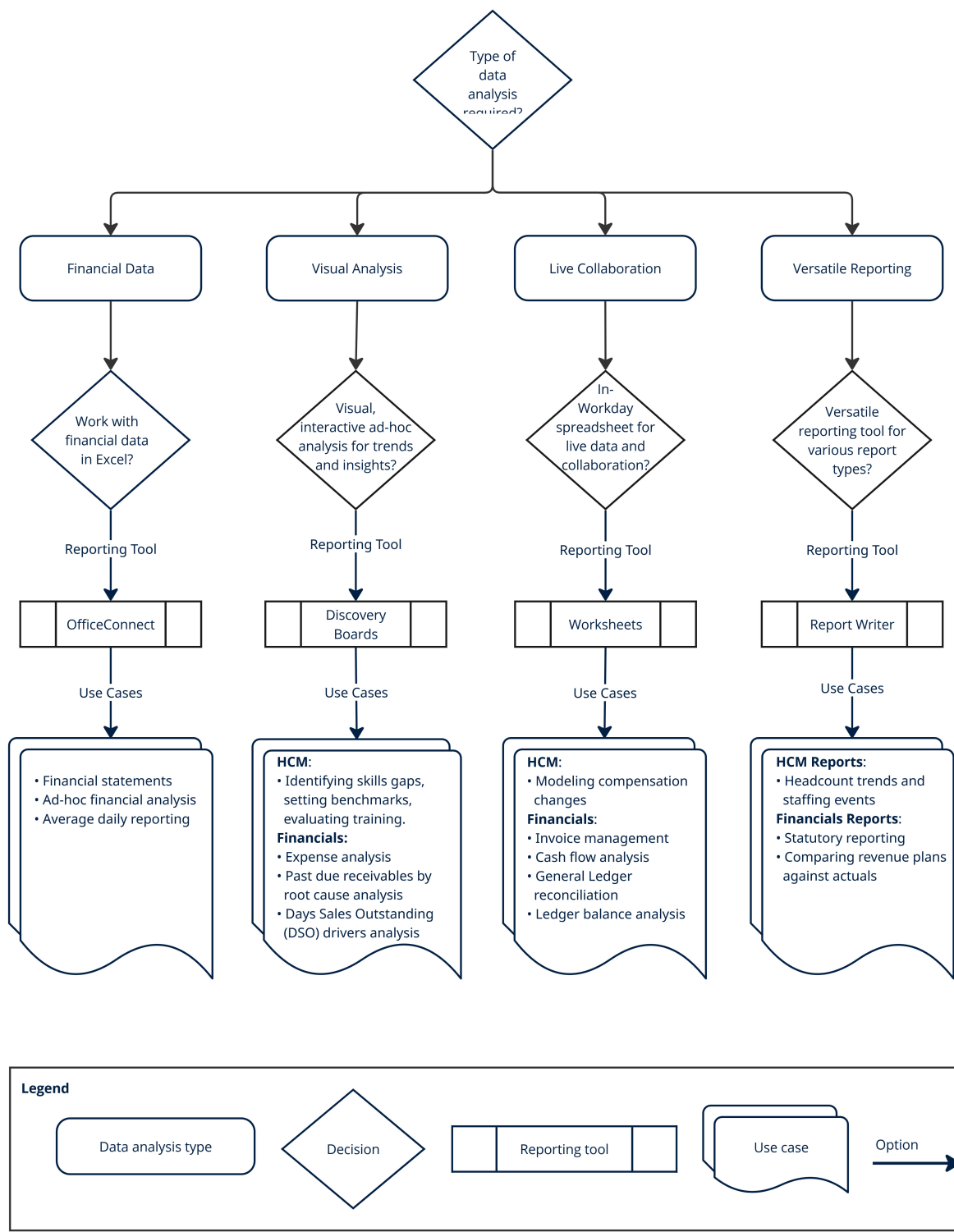
ワークシートは、Workday 内にスプレッドシートのような環境が必要な場合に、ライブ データ、セキュリティ保護されたデータ、モデル変更を使った共同作業を行うことができます。

- 説明: ライブ データと連携し、組織全体でのコラボレーションを容易にするための、Workday 内のスプレッドシート ツールです。
- 使用者: 通常、一元化レポートの開発者とアナリストが作成し、アナリスト、社員、マネージャが使用します。
- ユース ケース: リアルタイム データ モデリング、および以下のための共同データ操作
 - HCM: 報酬変更をモデリングします。
 - 財務: 請求書の管理、キャッシュ フロー分析、総勘定元帳の照合調整、元帳残高分析。
- **重要な考慮事項**
- 詳細レポート、マトリクス レポート、複合レポートを介して Workday データに接続します。
- "表示可能"、"コメント入力可能"、または "編集可能" の権限を持つドライブの共有モデルを使用する。
- 初期データのインポートとリフレッシュにはユーザーのセキュリティが適用されますが、コンテキスト依存のセキュリティを管理するためにワークブック テンプレートが使用されていない限り、ワークブックにアクセスできるすべてのユーザーがワークブック内のすべてのデータを表示できます。
- 外部データを含めることができます。
- Workday 検索、ドライブ、または直接 URL からアクセスできます。

レポート ライター

上記のどのような特定のニーズにも該当せず、さまざまなレポート タイプ、スケジュール、またはインテグレーションに対して汎用性の高いレポート ツールが必要な場合は、基本ソリューションとしてレポート ライターを使用できます。

- 説明: 元の Workday のレポート ツールで、表形式データや要約データなどの広範なレポート ユース ケースに対応します。
- 使用者: レポートは通常、一元化されたレポート作成者によって作成され、アナリスト、社員、マネージャ、ビジネス リーダー、HR、財務専門家など、広範な対象者によって使用されます。
- ユース ケース: 以下のドメインで非常に汎用性が高くなります。
 - HCM: ヘッドカウントの傾向、人材配置イベント。
 - 財務: 収益プランと実績を比較した法定レポート。
- **重要な考慮事項:**
 - Prism およびビジネス ビュー データ ソースを含む、Workday 提供のすべてのレポート データ ソース (RDS) をサポートします。
 - 関連ビジネス オブジェクトのフィールドを詳細レポートに含めることができます。
 - すべてのレポート タイプで計算フィールドがサポートされます。
 - Prism Analytics サブスクリプションが含まれている外部データのみ。
 - レポートの配信をスケジュールできます。
 - 下流のビジネス プロセス (埋め込み分析) とインテグレーション (report-as-a-service、RaaS) をサポートします。
 - 表示されるデータは、ユーザーのコンテキスト依存のセキュリティを考慮します。



影響を受ける製品領域
レポート

Workday ドキュメント リソース

詳細については、次を参照してください: [参考: Workday のレポート ツール。](#)

詳細については、次を参照してください。

- [参考: レポート リクエストの納品](#).
- [参考: レポート タイプ](#).

ユース ケース: 退職貯蓄の自動拠出増の設定

対象者

退職貯蓄プラン (RSP) の変更に関する福利厚生イベントで、自動登録プロセスの各ステップを実行する以下のロールの HR および福利厚生の担当者。

- 福利厚生管理者
- 福利厚生パートナー

組織ではこれらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

米国連邦セキュリティ保護法 2.0 では、組織が従業員に対し、退職貯蓄の拠出分を毎年自動的に増額できるようにすることが義務付けられています。このユース ケースでは、新規従業員および既存従業員の登録と有効化、および福利厚生イベントでのオプトアウト オプションの提供に関するプロセス フローの例を示します。このユース ケースは、Workday でのみ管理されている退職貯蓄プランにのみ適用されます。プロセスが異なるタスクまたはワークフローで構成されている場合があります。

影響を受ける製品領域

福利厚生の退職貯蓄口座

Workday ドキュメント リソース

詳細については、次を参照してください: [../human-capital-management/benefits/default-coverage-and-auto-enrollment/steps--set-up-auto-escalation-for-retirement-plan-contributions.dita](#).

詳細については、次を参照してください。

- [退職貯蓄プランの作成](#)
- [サードパーティ プロバイダが管理する退職貯蓄プランへの従業員の登録](#)

ユース ケース: ラーニング用クラウド コネクトの設定

対象者

"ラーニング用クラウド コネクトの設定" プロセスの各ステップの実行を担当する以下のロールの管理者。

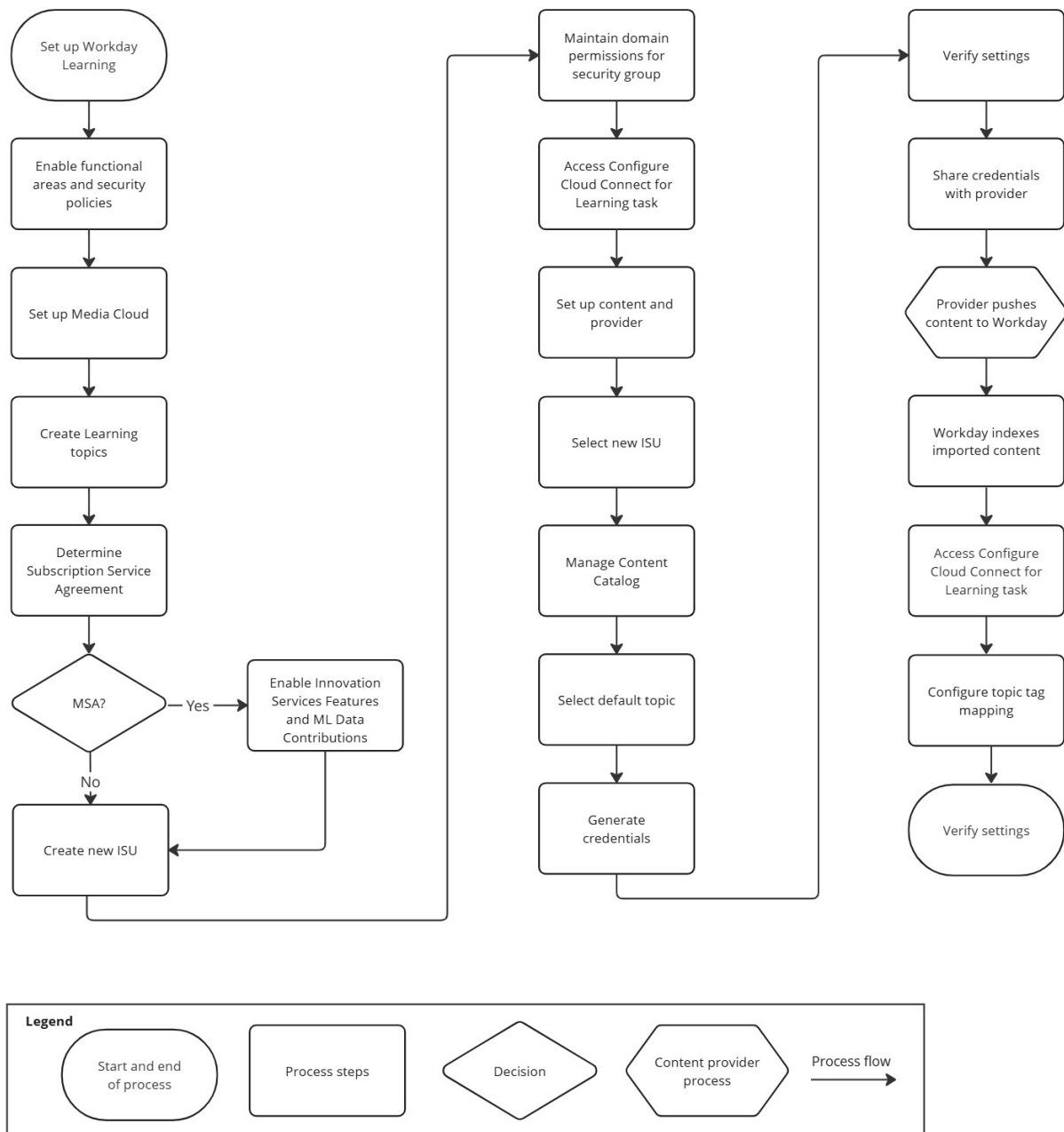
- ラーニング管理者
- 実装者

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

Workday のラーニング用クラウド コネクト (CCL) プラットフォームを使用すると、サードパーティのコンテンツ プロバイダがインテグレーションを構築し、Workday のメジャー リリース スケジュールとは関係なく、顧客にリリースすることができます。このユース ケースでは、CCL プラットフォームにおいて

サードパーティのコンテンツ プロバイダのラーニング用クラウド コネクトを初めて設定する場合のプロセス フローの例を説明します。プロセスによっては、異なるタスクやワークフローが含まれる場合があります。



影響を受ける製品領域

ラーニング

Workday ドキュメント リソース

詳細については、以下を参照してください。 [../human-capital-management/learning/learning-content/configure-cloud-connect-for-learning.dita](#)。

詳細については、以下を参照してください。

- [../human-capital-management/learning/learning-content/reference--content-providers-using-the-ccl-platform-to--platform-to-integrate-with-workday-learning.dita.](#)
- [../human-capital-management/learning/learning-content/xbd1536178491043.dita.](#)
- [../human-capital-management/learning/learning-content/fey1646155264903.dita.](#)
- [../human-capital-management/learning/learning-content/troubleshooting--configure-cloud-connect-for-learning.dita.](#)

ユース ケース: 直接的な会社間取引のための顧客とサプライヤの設定

対象者

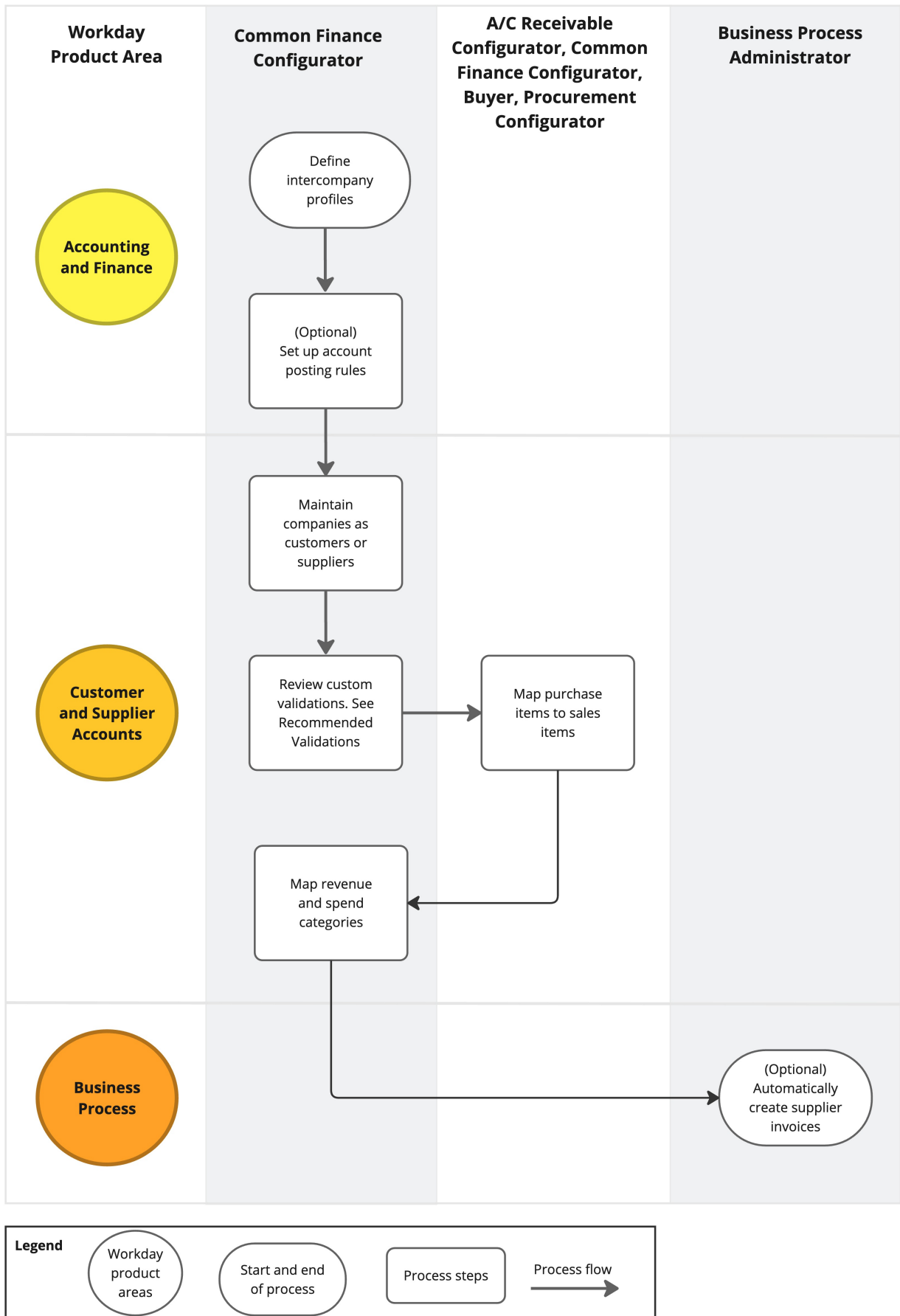
プロセスの各ステップの実行を担当し、直接的な会社間取引の顧客とサプライヤを作成する以下のロールの財務専門家。

- 売掛金コンフィギュレーター
- ビジネス プロセス管理者の購買担当者
- 購買担当者
- 共通のファイナンス コンフィギュレーター
- 調達コンフィギュレーター

組織では、これらのロールに異なる名称を使用している場合があります。

概要

直接的な会社間取引は、Workday 内の 2 つの会社が顧客とサプライヤとして互いに取引を行う場合に発生します。このユース ケースでは、直接的な会社間取引に向けた顧客とサプライヤの作成プロセスに関連するさまざまなタスクとユーザー ロールについて概要を示します。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の一例を示します。プロセスによっては、異なるタスクやワークフローが含まれる場合があります。



影響を受ける製品領域

- 会計・財務
- ビジネス プロセス
- 顧客およびサプライヤ アカウント

Workday ドキュメント リソース

詳細については、[ステップ: 直接的な会社間取引のための顧客とサプライヤの設定](#)を参照してください。

直接的な会社間取引の詳細については、以下を参照してください。

- [設定の考慮事項: 直接的な会社間アクティビティ](#)
- [直接会社間取引](#)
- [直接的な会社間取引の請求](#)。

ユース ケース: 代行の会社間取引の設定

対象者

以下のロールに属し、代行の会社間取引を設定するプロセスの各ステップを実行する財務担当者。

- 銀行設定担当者
- 共通財務設定者
- 売掛金コンピテンシー
- ビジネス プロセス管理者

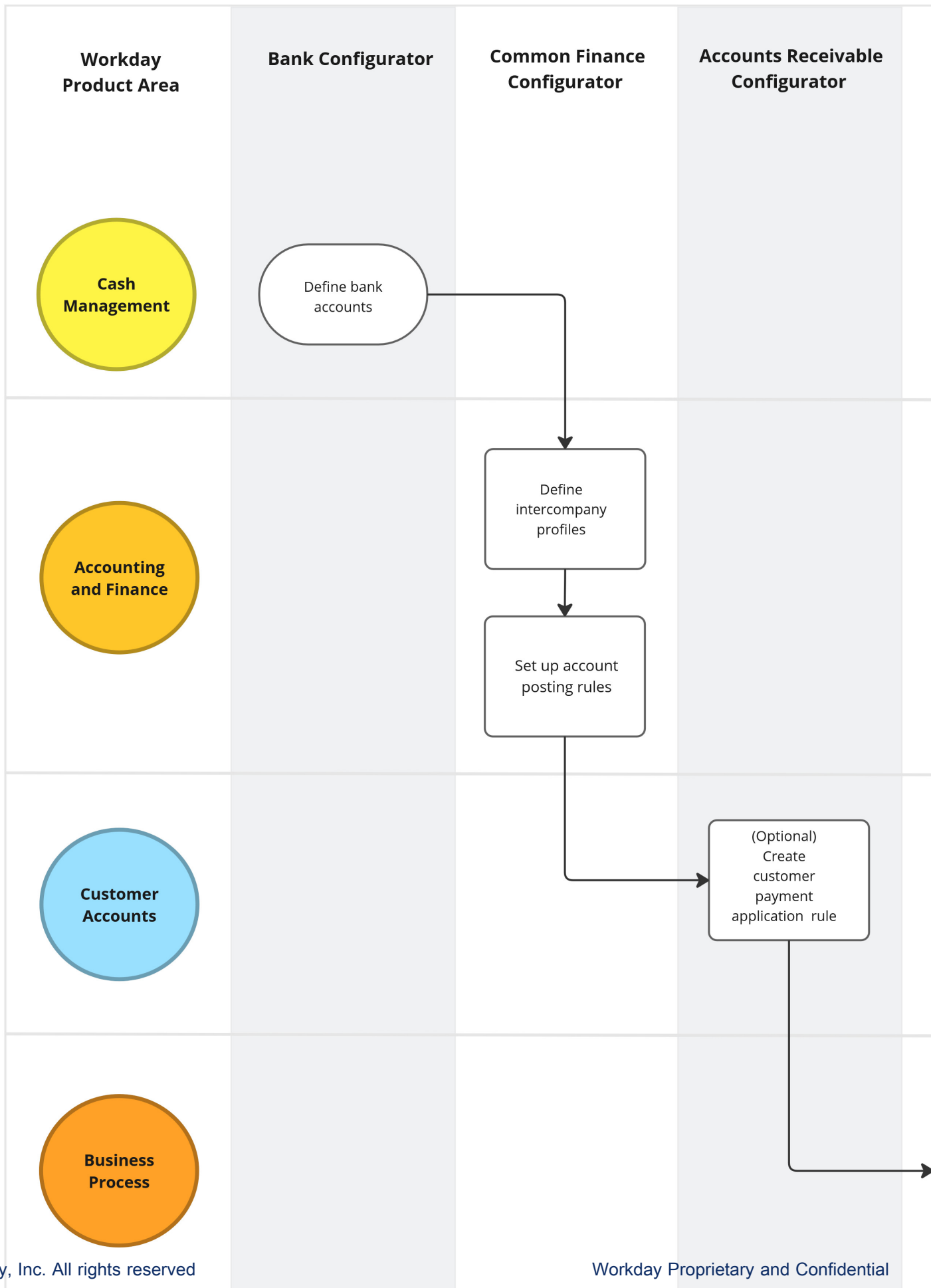
これらのロール名は、組織のロール名とは異なる場合があります。

概要

代行の会社間取引では、商品やサービスを提供する会社に代わって支払や請求書进行处理できます。会社間プロファイルと会社間関係を設定すると、代行の会社間アクティビティを記録、開始、決済できます。このユース ケースでは、代行の会社間取引の設定プロセスに関連するさまざまなタスクとユーザー ロールについて説明します。このユース ケースでは、プロセス フローと、各ステップを実行する Workday の領域の例を示します。プロセスが異なるタスクまたはワークフローで構成されている場合があります。

Note: このユース ケースでは、会社間取引を作成する際ではなく、会社の代行による会社間取引の設定におけるタスクを詳細に説明します。

- 銀行口座の定義
- 会社間プロファイルの定義
- 勘定計上ルールの設定
- (任意) 顧客支払の消込ルールを作成します。
- (任意) ビジネス プロセスを編集



影響を受ける製品領域

- キャッシュ マネジメント
- 会計・財務
- 顧客アカウント
- ビジネス プロセス

Workday ドキュメント リソース

詳細については、次を参照してください: [../financial-management/common-financial-components/intercompany/on-behalf-of-intercompany-transactions/vxu1603833797538.dita](#)。

詳細については、次を参照してください。

- [../financial-management/common-financial-components/intercompany/on-behalf-of-intercompany-transactions/bgs1613160769027.dita](#).
- 次の組織プレゼンテーション: 代行 - 内部取引
- 次のレベルのプレゼンテーション: 内部取引製品フロー